

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	新公会計制度アドバイザリー会議
日 時	平成27年8月24日(月) 14時55分～16時38分
場 所	府庁本館6階 会計検査室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)：小幡特別参与 武田特別参与 会計指導課 会計管理者、課長、課長補佐1名、 主査3名、主事1名 財産活用課 課長補佐1名、主査1名、副主査1名
論 点	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度財務諸表について その他
主 な 意 見	資料1について <ul style="list-style-type: none"> 純資産変動分析表の主な増減要因欄の「収支により」という表現を貸借対照表どおりに「歳計現金等の減」に改めてはどうか。 資料2について <ul style="list-style-type: none"> 行政コスト計算書の説明に、今回変動の大きかった税連動費用に係る記載をしてはどうか。 行政活動キャッシュ・フロー収支差額の説明を、行政サービス活動収支差額と投資活動収支差額に分けてはどうか。 資料3について <ul style="list-style-type: none"> 7ページ V. 財務状況 1. 主な財務分析（財務諸表に表れた数値を用いて各種の比率を算出）へ、算定数値（金額）を記載してはどうか
結 論	資料1について <ul style="list-style-type: none"> 純資産変動分析表の主要な増減要因欄の「収支により」という表現を「歳計現金等の減」に改める。 資料2について <ul style="list-style-type: none"> 行政コスト計算書の説明に、税連動費用に係る事項を記載する。 行政活動キャッシュ・フロー収支差額の説明を、行政サービス活動収支差額と投資活動収支差額に分けて記載する。 資料3について <ul style="list-style-type: none"> 7ページ V. 財務状況 1. 主な財務分析（財務諸表に表れた数値を用いて各種の比率を算出）へ算定数値（金額）を記載することとする。

<p>説明等資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 議事次第 • 【資料1】平成26年度財務諸表（各会計合算） • 【資料2】平成26年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要 • 【資料3】平成26年度大阪府新公会計制度財務諸表について • 【資料4-1】第37回アドバイザリー会議資料の訂正について • 【資料4-2】【第37回会議資料1-2】減損の状況（訂正版） <p>なお、これらの資料については、平成27年8月24日現在であり、会議でのご指摘等による修正があります。</p> <p>最終の財務諸表等については、下記の資料を確認ください。</p> <p>※最終の財務諸表についてはこちら（リンク）</p> <p>http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html</p>
<p>関係部局 （室課）</p>	<p>財産活用課</p>